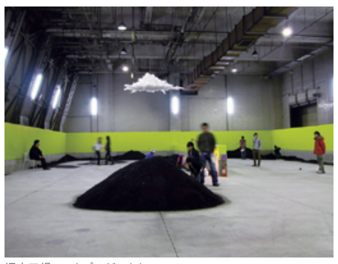
LET'S UNITE: ART INITIATIVE

集まれ!アートイニシアティブ PART2

資料展示：2009.9/3 Thu. - 9/13 Sun. 11:30-19:00
会議：9/4 Fri. 11:30-12:45　9/5 Sat. 19:00-
会場：BankART Studio NYK

磯崎道佳「みんなでドームin大やぶ池谷津」

曽我部昌史（そがべ まさし）
神奈川大学・みかんぐみ｜横浜
2006年の着任以来、学生たちと実際の街や建築に向き合い、具体的なデザインの検討を通して、建築あるいは建築家の可能性を追求してきている。アートプロジェクトへの参加、セルフビルドでの制作なども少なくない。今年度は、寿町（横浜）、加西市（兵庫）、飯塚市（福岡）、八潮市（埼玉）、上勝町（徳島）が拠点。


旧中工場アートプロジェクト

GALLERY SOAP 外観

長田謙一（ながた けんいち）
首都大学東京｜東京
首都大学東京の新設アート＆デザイン社会システムコアでは、プロジェクト立ち上げに向けた試みを毎年積み上げてきた。1,2年生対象:南大沢キャンパス内プロジェクト、昨年度からの3,4年生対象:「サバービア東京」プロジェクト。後者の今年の展開は、日野市に残る旧蚕糸試験場跡地に関わる企画を予定。東京都の本年度「学生とアーティストによるアート交流プログラム」に採択された。

室井 尚（むろい ひさし）
横浜国立大学・横浜文化創造都市スクール（北仲スクール）｜横浜
10月から、ヨコハマ馬車道で都市文化創成/都市デザインの高度人材養成と文化イベントの創出を目指す七大学共同の横浜文化創造都市スクール（北仲スクール）を開設する。今後、横浜のさまざまな文化事業と連携して、大学から新しい文化を送り出して行こうと考えている。

加治屋健司（かじや けんじ）
広島市立大学・広島アートプロジェクト実行委員会｜広島
現代美術を中心とした展覧会、シンポジウム等の実施を通して、広島の文化芸術の振興、都市や地域の再活性化、次世代の人材育成の事業を行う。2006年設立。柳幸典ディレクターのもと2007年に「旧中工場アートプロジェクト」、2008年に「CAMPベルリン—ヒロシマ」「汽水域」を開催した。本年は「いざ、船内探険!吉宝丸」を開催する。

宮川敬一（みやがわ けいいち）
GALLERY SOAP・NPO法人アートインスティテュート北九州｜北九州
1997年北九州市で設立されたアートスペース。2001年からは、様々なバックグラウンドを持つ人々と協同でRE/MAP PROJECTを開始。2006年にはNPO法人AIK:アートインスティテュート北九州を発足し、北九州国際ビエンナーレ等を開催している。

Artspace 外観

バローの町並み

熊倉純子（くまくら すみこ）
東京藝術大学（音楽環境創造科）｜東京
音楽環境創造科は領域横断的な新設学科で、アートマネジメントも扱っている。学科では、プロジェクトという実践授業をカリキュラムの中核にしており、地域でのアートプロジェクトの企画運営もおこなっている。

貝島桃代（かいじま ももよ）
筑波大学｜茨城
大学を開くアート＆デザインプロデュース（ADP）とは、アート・デザインを通して、現代的な教育課題である「3C力」を高めることを目的とした筑波大学の教育プログラム。「3C力」とは「コミュニケーション力」「コラボレーション力」「コーディネーション力」という、物事やそれに関わる人をプロデュースしていくのに重要な能力。全学学生を対象としたプロセス参加型実践プログラムの演習及び学外の専門家を招いての講義からなる。

池田 修（いけだ おさむ）・溝端俊夫（みぞはた としお）・細淵太麻紀（ほそぶち たまき）
BankART1929｜横浜
横浜市が推進する創造都市プロジェクトのひとつ。2005年に元銀行だったふたつの建物を活用してスタート。現在は元倉庫だったBankART Studio NYKを中心に、美術・建築・パフォーマンスなどの展覧会やイベント、スクール・パブ・ショップ・コンテンツ等のベース事業を活発に行っている。屋外や街中でのコーディネートや他チームとの連携も多い。

大平勝弘（おおひら かつひろ）
NPO法人STスポット｜横浜
1987年横浜市が開設した小空間「STスポット」の運営団体として、演劇・ダンスを中心にパフォーミングアートの担い手の活動拠点となっている。これらの創造活動を推進する事業、情報サービス提供、ネットワーク構築など有機的な広がりをもたらす取組みを行い、多くの若い才能を輩出している。

Reuben Keehan（ルーベン・キーハン）
Artspace｜オーストラリア・シドニー
オーストラリアを代表する現代アートセンター。国際的なアーティストレジデンスを行う。シドニーの現代アートシーンの重要な拠点であり、国内外のアーティスト、作家、キュレーターの交流を促進している。年間20本の展覧会、50人以上のアーティストを受け入れる。また、Columnという定期刊行物のほか、文化関連の出版物を多数制作。

Stuart Bastik（スチュアート・バスティック）
ART GENE｜イギリス・バローインファーネス
アートジーンは、インディペンダントなアートリサーチ機関。アーティストであるスチュアート・バスティックとマッディ・ニコルソンが始めた。国内外のアーティスト、建築家たちが、社会と自然と環境の再生のために何が出来るかをリサーチしている。2002年以来、多くのアーティスト、建築家が来訪し、調査研究や展示を行ってきた。

S-AIR アーティスト・イン・スクール

里見有祐（さとみ ゆうすけ）
急な坂スタジオ｜横浜
2006年、舞台芸術を中心とした創造拠点・稽古場として開館。横浜を拠点に活動するレジデントアーティストたちをはじめ、次世代の舞台芸術を担う人材の支援・育成に注力している。そのほか、ワークショップや公演なども企画。急な坂スタジオは「稽古だけじゃない稽古場」を目指している。

森 博（もり ひろし）
株式会社エムエイチユニット｜東京
日本をはじめ、世界の優れたデザイン商品、及び手仕事を紹介するdesignshopを10年運営し、最近はフードディレクター、グラフィックデザイナーと組んでdesign food brand「800 for eats」を立ち上げ、食も含めた日本のライフスタイルを世界に発信している。

Mario A.Caro（マリオ・A・カロ）
Res Artis｜オランダ・アムステルダム
Res Artis (Worldwide Network of Artist Residencies)は、50カ国以上200以上のAIR実践団体などで構成される、世界で最も大きな国際的ネットワーク。1993年に設立され、AIRの実践を通し、芸術創造や文化政策への提言、アーティストの移動・創作の活性化を目指している。隔年のペースで世界各地を持ち回りとして総会が開かれ、活動の向上、交流などを積極的に展開している。

原田真千子（はらだ まちこ）
秋吉台国際芸術村｜山口
世界に開かれた「芸術文化の創造と発信」の場として、音楽、美術、ダンス、演劇など幅広い芸術文化活動に対応できる滞在型芸術文化施設。1998年8月の開館以来、アーティスト・イン・レジデンスやセミナー・ワークショップ事業のほか、国内外の関係団体との連携プログラムや公演事業、滞在者と地域との交流事業などを展開する。また、創作・練習・発表など芸術文化活動の場として開放している。

岡田 勉（おかだ つとむ）
松田朋春（まつだ ともはる）
象の鼻テラス・スパイラル｜横浜
開港150周年を記念して今年オープンした文化交易拠点「象の鼻テラス」を運営するスパイラル/株式会社ワコールアートセンターからの参加。スパイラルは1985年南青山に開館して以来「生活とアートの融合」をテーマに多彩な分野のアート、デザインを紹介するとともに、各地で領域横断的なプロジェクトをプロデュースしている。

小川 希（おがわ のぞむ）
Art Center Ongoing｜東京
Art Center Ongoingは、いまの時代を担う必見アーティストを紹介するギャラリースペース、新旧アートブックの閲覧も可能な交流の場としてのカフェ＆バースペース、そして独自のネットワークにより編纂した広範なアーティスト情報を提供するライブラリーブースを併設する芸術複合施設。シンポジウムやライブ等のイベントも積極的に行っている。

Jinsuk Shu（ソ・ジンスク）
AlternativeSpace Loop｜韓国・ソウル
Loop(ループ)は、ソウルにあるオルタナティヴ・スペースのひとつ。実験的な活動をしている若手アーティストを支援するため、世評や商業価値を問わず、展覧会を実施し、サポートしている。既存の画廊/美術館システムの枠外で、才能あるアーティストを発掘・支援・紹介することを目的とし、展覧会、パフォーマンス、ワークショップ、その他関連イベントなど、多様なジャンルの事業を実施している。

小林史子＠遊工房ギャラリー

進藤冬華（しんどう ふゆか）
特定非営利活動法人S-AIR｜札幌
NPO法人S-AIRは、1999年度より文化庁などの補助金を受けて北海道でアーティスト・イン・レジデンス事業を開始した。NPO法人となった2004年度以降は、インタークロス・クリエイティブ・センター ICC（さっぽろ産業振興財団）との共催で事業を継続し、国内外アート・センターや、アーティストと独自のネットワークを形成している。

西田 司（にしだ おさむ）
川嶋貫介（かわしま かんすけ）
本町ビルシゴカイ｜横浜
昭和4年に竣工した現役ビルの2フロアを使用した横浜馬車道にある創造拠点。活動開始から丸3年を迎える。建築家、アーティスト、デザイナー、都市計画家、環境系、webプログラマー、写真家等15組のクリエイターが入居する。

長谷川仁美（はせがわ ひとみ）
ミアカビデオアーカイブ｜横浜
ミアカビデオアーカイブは2006年から活動している、美術の映像のアーカイブ。美術の映像を保存し、作品の展示や海外へのディストリビューションなどによりアーティストのサポートと、文化財としての映像作品の保存、また美術と社会に関わるディスカッションなどを行っている。

徳光健治（とくみつ けんじ）
株式会社ギャラリータグボート｜東京
大学卒業後に総合商社に11年勤務し、主に海外営業（香港駐在を含む）と子会社経営に携わる。その後、外資系コンサルティングファーム、モバイルコンテンツ企業等にて経営企画、営業企画、新事業の立ち上げに従事した後、エムアウトに参画。現在は、現代アートのオンライン販売を事業展開する『株式会社ギャラリータグボート』の責任者として、国内および海外のアートコレクター向けの作品販売や、若手の新進アーティストを支援するサービスを展開している。

Bec Dean（ベック・ディーン）
Performance Space｜オーストラリア・シドニー
1983年設立。多分野の芸術を扱う国立文化機関である。演劇、ダンス、パフォーマンス、ビジュアルカルチャー、ニューメディア、サウンドの領域を越えた実践を支援すると同時に、アーティストと観客の関係を問い、常に進化を続ける現代社会に係わる企画を実施している。年間50以上の企画を主催し、300人以上のアーティストを迎えている。

村田達彦（むらた たつひこ）
遊工房アートスペース｜東京
遊工房アートスペースは、都内としては、希少な緑豊かな武蔵野台地の端、杉並の住宅地に在り、ギャラリー、創作スタジオ及び滞在施設を備えたアートの複合施設。国内外のアーティストが、東京という魅力的な都市に滞在しながら活躍を広げる機会をつくり、地域の人々が、さまざまな分野のアートを身近に触れることができる。

TRAVEL FRONT

はっぴい・はっぱ・プロジェクト

岡部友彦（おかべ ともひこ）
コトラボ合同会社｜横浜
地域に即したビジネススタイルを模索し実践することにより、人の輪づくりや街のイメージづくりなどのコトづくりを主体として、持続的な活動を行っている団体。寿町の簡易宿泊所の空き部屋を改装して国内外からの旅行者が泊まれる安宿"ヨコハマホステルヴィレッジ"を運営している。

嘉藤笑子（かとう えみこ）
AAN・野毛Hana*Hana｜横浜
野毛Hana*Hanaは、横浜市野毛地区のまちづくりの活発な活動の場として、また地域に根ざした新たな文化発信の拠点として、今年4月に開館。横浜市が提唱する"映像文化都市"の一翼を担うべく、「メディアギルド」と称した映像メディアに関するNPOや個人が共同オフィスとして入居している。3つのギャラリーは市民に開放され、多彩な自主企画や外部イベントなどのプログラムを展開している。

名村造船所跡地外観

馬場正尊（ばば まさたか）
Open A/R不動産｜東京他
Open Aは、2003年に日本橋の倉庫を改装してアトリエにした。その頃、このエリアは東京駅からワンメーター圏内なのに、空きビルが多く、街はスカスカに見えていた。それがおもしろくて、「空物件から眺める東京の現在」をブログにしたのが「東京R不動産」の始まりだ。今ではこの一帯は、東京でも有数のギャラリー、アトリエの集積地になってしまった。にわかに、信じられない（笑）。

野田恒雄（のだ つねお）
TRAVEL FRONT（TRAVELERS PROJECT事務局）｜福岡
福岡を拠点に、日々の挑戦を旅のように楽しむ人を「トラベラー」と位置づけ、トラベラーのための「場づくり」を目的に活動。これまでに、「冷泉荘」（2009.03終了）などを企画・運営してきている。現在は「紺屋2023」（2008.04～2023.03）の企画・運営を業務の中心に、幅広い業界との連携を目指す。

吉川由美（よしかわ ゆみ）
ダ・ハ プランニング・ワーク｜仙台
宮城県のえずこホールなどでコミュニティプログラムをプロデュース。仙台の卸町、東北大学植物園、青葉通、定禅寺通、一番町四丁目商店街などではっぴい・はっぱ・プロジェクトを展開。今年は鳴子温泉でアートプロジェクトを展開した。向井山朋子「夏の旅～シューベルトとまちの音」「wasted」、ART仙台場所の制作などに関わる。

寿オルタナティブ・ネットワーク　ワークショップ「パラモデルと一緒にプラレールで遊ぼう」

小原啓渡（こはら けいと）
ARTCOMPLEXグループ｜京都・大阪
「新たな価値創造」をコンセプトに、文化施設の運営および技術者の派遣業務を主軸とし、イベントの企画・制作等も行う。近代建築をリノベートした「ARTCOMPLEX1929」、練習室とホールを備えた「大阪市立芸術創造館」（指定管理）、大阪市住之江区の名村造船所跡地を活用した「クリエイティブセンター大阪」などを運営。

豊島重之（としま しげゆき）
ICANOF｜青森
2000年12月発足。2001年から毎年欠かさず八戸市美術館でポーランド・韓国・沖縄・北海道の現代美術/写真/映像を軸に企画展開催。2006年中平卓馬・森山大道・高梨豊による『メガネウラ展』2008年『68-72*世界革命*展』2009年9月18日～『BBB展』。〈切手・消印つき写真プロジェクト100景〉突破目前。写真集9冊出版。<http://www.hi-net.ne.jp/icanof>

田中陽明（たなか はるあき）
co-lab三番町｜東京
co-labは東京都千代田区三番町にあるクリエイター専用のシェアオフィス。デザイナーやアーティスト、建築家など約120人が所属。都心の一等地にクリエイターが小額づつ出し合い、ほぼビル一棟借り上げてクリエイションに特化した環境を確保し、経済的にも自立した場所を維持し続けるシステムを提供している。同時にクリエイションシンクタンクとして、新しい表現や価値観を創出していく機能も働いている。

武藤 勇（むとう いさむ）
N-mark｜名古屋
1998年に『僕らの見たいアートと出会うために』を主旨にN-markを設立。名古屋を中心に、企画やアートスペースの運営を行って来た。また日本縦断アートスペースを訪ねる旅、『ミーティングキャラバン』、全国のアートスペースを繋ぐ『カフェライン』を実現。現在はアートに限らない様々なシーンにどのようにアートが仕掛けていくか模索中。

ヒヤシンスハウス

保坂健二朗（ほさか けんじろう）
東京国立近代美術館｜東京
1952年開館。ここ数年開催している所蔵作品を中心にした小企画展（250m²）が好評。企画展（1300m²）では、ブラジル、沖縄、アジア、ドローイングなど多種多様なテーマに意識的に取り組んでいる。自主企画の建築展は、2008年に続き10年に開催予定。広報でも、you tubeやtwitterを活用中。

杉崎栄介（すぎざき えいすけ）
アーツコミッション・ヨコハマ（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）｜横浜
つなぐ、ふやす、アートの現場を合言葉に、横浜市内で、アーティスト、クリエイターが活動しやすい環境を整える中間支援事業を行う。

前島アートセンター

河本一満（かわもと かずみち）
寿オルタナティブ・ネットワーク｜横浜
アーティストをはじめとする多様な立場の担い手による文化的な活動を通して町を活性化させることを目的に、拠点整備などの場づくり、ネットワーキング活動を行っています。ドヤのまち寿町を舞台とした「KOTOBUKIクリエイティブアクション」や、ウェブサービス「Yokohama Creative Map」などを展開中。

山出淳也（やまいで じゅんや）
NPO法人BEPPU PROJECT｜大分
2005年大分県別府市を拠点に、地域における芸術文化の機会を創出する活動を開始。別府市内で様々な現代アートの企画、イベントを開催。2007年は創造都市に関する国際シンポジウムを開催、2008年は中心市街の空き店舗をリノベーションしアートスペースを創出。2009年春に「別府現代芸術フェスティバル2009混浴温泉世界」を開催した。

中村 誠（なかむら まこと）
埼玉県立近代美術館・SMF・ヒアシンスハウスの会・アートプラットフォーム｜埼玉
埼玉県立近代美術館は1982年開館、ユニークな企画と活発な普及活動を特色とし、椅子の美術館としても知られる。SMFは、昨年度の「LINK!」を継承・展開するため、館のミッションの実現を支援してくださる方々を構成員として設置。ヒアシンスハウスの会は、詩人・立原道造のヒアシンスハウスの維持管理、諸ジャンルを結ぶ地域文化活動を行っている。

天野太郎（あまの たろう）
横浜美術館｜横浜
1989年開館。東西冷戦終結の年。近代以降の美術を射程に、現代美術にも積極的に取り組む。今年の金氏徹平展は、思い切った若手起用で、内外に波紋を投げかける。今年の暮れの束芋展、来年度は、高嶺格展へと続く。2011年には、第四回横浜トリエンナーレの主会場の一つとして美術館も本格的に取り組む。企業のCSRと新たな公的サービスのプログラム作りで、資金集めにも取り組む。

平林 恵（ひらばやし めぐみ）
金沢21世紀美術館｜金沢
妹島和世＋西沢立衛（SANAA）の設計による円形ガラス張りの開放的な空間は、2004年、「まちに開かれた公園のような美術館」を建築コンセプトとしてオープンした。以来今日まで、世界の同時代の美術表現に市民とともに立ち会う場としての役割を果たすべく、収集、展示、教育普及の各活動を多様に展開してきている。当館は、まちとの共生により、新しい金沢の魅力と活力を創出していこうとしている。

宮城 潤（みやぎ じゅん）
NPO法人前島アートセンター｜沖縄
前島アートセンター（MAC）は、前島3丁目の旧高砂殿ビルを、民間主導の新しい芸術・文化活動の拠点に作り変えようという趣旨のもと、活動してきた。2007年10月より栄町市場内に新スペース「おきなわ時間美術館」を設立。沖縄での新しい文化の発信地として一歩一歩活動を展開している。

山野真悟（やまの しんご）
特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター｜横浜
かつて違法飲食店が約250件あまり軒を並べていた中区黄金町エリアのアートによるまちの再生をめざし、横浜市から委託された建物の有効活用や黄金町バザールの開催等の事業を行っている。

住友文彦（すみとも ふみひこ）
ヨコハマ国際映像祭2009｜横浜
開港150周年の2009年に「映像文化都市・横浜」の新たな取組として、現代美術、メディアアート、CG、アニメーション、映画、写真など様々な映像を対象とした国際的な映像のフェスティバル「ヨコハマ国際映像祭2009」を開催する。映像の制作と伝達がデジタル化され、私たちの映像による新しいコミュニケーションがはじまる時代の新しいフェスティバルである。